

ID：

患者氏名：

様

	入院（手術前々日）～手術前日	手術当日 入室前	帰室後	手術後1～4病日	手術後5～6病日	手術後7～8病日（退院）
	月 日	月 日		月 日	月 日	月 日
目標	手術の説明が理解でき手術に望むことができる			苦痛・疼痛がコントロールされ合併症がなく経過が良好である		日常生活が拡大し合併症がなく経過が良好である 退院後の生活や過ごし方について理解できる
説明・指導	- 入院生活について説明します - 手術前日に麻酔科の受診があります - 服薬歴、持参薬等の確認を薬剤師がします - 手術に必要な物品を確認します - ストーマについて説明があります（必要時）	- ご家族は手術前に来院していただきます - 手術中は病棟のラウンジにてお待ちください - 病棟から離れる際は必ずお知らせください - 手術時間に変更がある場合は説明します - 貴重品の管理はご自身でお願いします - 家族に預けるか、鍵の掛かる引き出しに入れて鍵は家族へお渡しください	- 医師からご家族へ手術内容について説明をします - 痛みがある場合や気分が悪い場合はナースコールでお知らせください		- ストーマケアについて説明します - 手術後7日目に「リンパ浮腫予防」の指導があります（リンパ節郭清をされた方）	退院後の日常生活の注意点について説明します
治療・処置	- お臍の処置を行います - ストーマの位置を確認します - 手術前日15時に浣腸を行います	手術当日6時に浣腸を行います		- 医師の指示のもと、酸素吸入をします - 呼吸数、体温、脈拍、血圧を測定します 	- 体温、脈拍、血圧を測定します - パウチを交換します（少しずつ看護師と一緒にっていきます） - パウチ内の便をとる練習をします - 手術後7日目に退院診察があります - 手術後の経過・今後の外来受診について説明します	
検査	輸血の準備のための採血をします				 手術後1・4・7日目の朝に採血があります	
内服・点滴	- 持参薬を確認します - 夜眠れない時は、眠剤を飲むことができますので、看護師にお知らせください - 手術2日前から下剤を2種類内服します - 入院日から点滴を行います	 点滴を行います 背中に痛み止めの管が入っています		- 手術後1日目に背中痛み止めの管を抜きます - 血栓予防のための注射を腹部に行います（6時・18時、退院まで） - 食事が進むと点滴が徐々に減ります - 手術後2日目の昼から鎮痛剤や緩下剤の内服薬が始まります 		
食事	- 食事や間食は摂取できません - OS-1という経口補水液を飲みます	説明した時間まで飲水はできませんが食事はできません 		飲水は許可があるまでできません - 医師の指示により、水分、食事を開始します - 徐々に食事内容がアップしていきます ⇒流動食⇒3分粥⇒5分粥⇒全粥⇒米飯 - 退院後の食事は消化の良いものを摂取しましょう		
生活・行動	 特に制限はありません	- 寝衣のまま、歩行または車椅子で手術室へ向かいます - 出発前にトイレを済ませてください 		- 手術室から病室へベッドで戻ります - ベッドで安静に過ごします - 寝返りはできます - 下肢の血流を良くする機械をつけます - 尿を出す管が入っています - お腹に管が入っています - ベッドの横で立つことができれば、下肢の機械を外します - 手術後の回復のために、できる範囲で歩きましょう - 初めて歩くときは看護師が付き添います - トイレまで歩けたら尿の管が抜けます 		
清潔・その他	入浴ができます 	ショーツ以外の下着や金属類は全てはすして頂きます		ナプキンの交換、出血の確認をします - 毎日タオルで身体を拭きます - 看護師が温かいタオルをお持ちします - シャンプー、足浴は適宜できます - お腹の管が抜けたらシャワー浴ができます - 退院時、お預かりしていたお薬をお渡しします		

注）予定は現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わることがあります。